

>> Vol.56 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

熊本地震支援についてご報告

7月28日、スマートフォンの画面が熊本地震の第一報を告げた時、私は何とかこれが誤報であってほしいと願いました。ちょうど10年前の平成28年にも最大震度7の地震が熊本県内であったばかりで、あまりに酷だと思ったからです。

しかし現実やはり酷なものです。すぐに情報収集を始めました。宇城市、氷川町、そして人口10万人を超える八代市で被害が大きいらしい。そしてだんだんと、全国の市町村長の情報交換も活発になっていきました。

まずは現地が求める支援物資を送ろうと、7月31日、佐久市、小諸市、軽井沢町、浅麓・佐久両水道企業団とともに、ペットボトル入りの水や携帯トイレ、おむつなどを送りました。御代田町が7月はじめに購入したばかりのトイレトラックも必ず現地で求められているはずと考えました。水不足の情報があったため、佐久水道企業団の柳田企業長(佐久市長)に給水車の協調派遣をお願いし、いわゆる自己完結型の支援態勢が確立されました。

8月3日について八代市から出動要請をいただき、翌4日午後には御代田町を出発。5日夜には現地での活動が始まりました。現地の水事情が予想外に早く改善したこともあり、7日には八代市役所に引き継いで情報防災係の職員2名が御代田町に帰ってまいりました。佐久水の給水車は八代市だけでなく氷川町でも活躍したようです。

トイレトラックは植柳小学校というところの避難所に置かれています。小学校に連日詰めているスタッフや学校の先生たちにも大変好評です。避難所はあくまで避難者優先ですから先生たちのことは後回しになりがちですが、これから長く大変な時間を過ごす点では先生たちも同様です。必要な限り現地で使い続けていただきますので、イベント等での貸し出しは当面ご容赦ください。

トイレトラックが活躍できているということは、災害が発生し、現に苦しんでいる皆さんがいらっしゃるということで、複雑な気持ちではあります。しかし、そんなときだからこそ、この災害が起きなければ結ばなかった人と人の縁が豊かに結ばれることを願います。

御代田町としては、今後も能登半島、八丈島・青ヶ島、そして熊本の支援を続けるとともに、今回は支援側に回ったものの、いつ支援を受ける側になってもいいように、「受援体制」の構築に力を入れてまいります。



佐久警察署からのお知らせ

「秋の全国交通安全運動」を実施します!



実施期間：9月21日(月)～9月30日(水)

交通安全のために、みなさまのお力添えをお願いします

【全国重点】

- ①<歩行者> 歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進
- ②<自動車> 夕暮れ時の早めのライト点灯と
飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
- ③<自転車> 自転車・特定小型原動機付自転車の
交通ルールの理解・遵守の徹底



しあわせをつなぐ 信濃路 ゆずり合い

問い合わせ先 佐久警察署交通課0267(68)0110

雪窓湖リニューアル工事が完了しました



町では、より多くの方に安全に散策を楽しんでいただけるよう、昨年度から雪窓湖の遊歩道整備等を進め、この度工事が完了したことから、8月3日(月)に竣工式を執り行いました。

竣工式には、今回の工事に多大なご寄附をいただいた寄附者の方をはじめ、町議会、地元区、施工業者など関係者の方々をお招きしました。式終了後には、新しい遊歩道を皆さまで散策し、整備の完成を祝いました。



安全柵・クレー舗装の遊歩道



案内看板



東屋

今回の整備に至るまでには、令和6年度に湖面を覆っていたヨシの刈り取りやしゅんせつ工事を実施しました。続く令和7年度には、住民の皆さま参加型のワークショップや説明会を重ね、いただいた貴重なご意見を踏まえ、「湖西側への安全柵設置」「クレー舗装の遊歩道整備」「案内看板の設置」「東屋の整備」を行うこととなりました。

今後は、四季折々の自然を身近に感じながら、皆さまに楽しんでいただける場となることを願っております。ぜひ、生まれ変わった雪窓湖へお越しください。

問い合わせ先 産業経済課耕地林務係(32)3113

俳句の世界

「御代田風の道俳句会」五月会 から寄せられた代表作品です。

俳句 当期雑詠二字

【御代田風の道俳句会】

百年のあばれ御輿や若い衆

夕虹やおぶられし子の背の重き

何事もなき一日に虹の橋

炎天や養蚕鉄路の赤い橋

夫婦龍睦まじく舞ふ祭の夜

下駄ばきで前ゆく人の白緋

妙ちきや番犬はゆるサングラス

俳句道場【五月会】

刈草の香り運びて空晴るる

すすき梅雨花穂琥珀に閉じ込めて

銀漢(天の川)

銀漢や静寂を絶つ一雫

南風に乗り岸に向ひて豊漁旗

早苗饗の山里流る祭り唄

その言は時に目覚める蟬時雨

緑陰に指葉して読む古典

短夜に來し方末を思ひ入る

中山道六十九次をゆく【シリーズ】²⁹

和宿*中山道の最大難所と言う旧峠を控えて降家和尚の行列の先頭が宿場に着いた時には未だ下諏訪宿に行列が残るとは旧本陣の女性にて通過するのに九四日かかったと言う。

裸にそつと寄り添ふ朴落葉

荒木久美子

渡辺美智子

千葉 幸子

柏木 恵子

金澤久美子

須藤 葉子

井田 美乃

小宮山みゆき

武谷美智子

堀篁 幸子

味木 美隆

谷田川 武

山口こさち

湯本みつる

武井 房子

内堀 隆久